

はじめに

生徒アンケートでは全般的に肯定回答が多かった。肯定回答を強みとしながら2学期の取り組みを進めていく。また、肯定回答の低い項目については、各学年、分掌において具体的な対策を検討し対応にあたっていく。検討にあたっては学校運営計画や各学年、分掌の目標と照らし合わせながらその対応を検討していく。

1 家庭生活について

ゲームについては、生徒、保護者ともにルール作りに課題がある。保護者との連携が大切である。引き続きPTAへの働きかけを行うと共に、小中PTAで連携した取り組みを推進する。

2 学校生活について

「勉強は好きですか」に対しては、学校生活全体を質的に高める取り組みを行う。2学期の見通しを持たせるなど、ゴールを意識した生活を意図的に行わせることで学びへの積極的なかわりを持たせたい。

また、保護者アンケートから「目標をもって学校生活を送っていると思うか」の肯定回答が低いことから、生徒の目標を保護者と共有できる仕組みを構築することが大切であると考え。保護者の後押しも得ながら「目標ある生活」を実現していく。【各教科の2学期学習内容の提示】

「自分には良いところがある」についての肯定回答が低い。「目標ある生活」にあわせ、それぞれの良さを教師、保護者、生徒同士が具体的に伝える機会を増やしていく必要がある。【第1回学校評議委員会意見】

3 授業について

肯定回答が高いが、生徒の諸テストの結果から学習の定着につながっていない面がある。「わかった」と「定着」とのかかわりについて研究を進める必要がある。「受け身」ではなく自分から「定着を求める」姿勢を向上させていく。

帰りの短学活を活用し、授業と家庭学習とかかわりを明らかにしていく。

4 その他

保護者アンケートの「ワクワクして登校していると思うか」に対する肯定回答が低いことから、保護者が「ワクワクして登校させる学校」を目指していきたい。

保護者との連携は重要な課題である。